

キトキトとやまを食べてよう!



第7号

# 新川水土里たより

新川農林振興センター  
農業農村整備広報・広聴連絡会  
〒937-0863 魚津市新宿10-7  
電話(0765)22-9137【指導課】



郷土の水環境について発表する「くろべ水の少年団」

市内の小学5、6年生で結成されている「くろべ水の少年団」による活動発表、タレントの大桃美代子さんによる記念講演がありました。午後、愛本堰堤や生地湧水群などの現地を見学し、十二貫野湖周辺では参加者全員で記念植樹を行いました。

アンケートでは、参加者の9割から良かったとの回答があり、「黒部川の偉大さ、先人の素晴らしさを改めて認識した」、「子ども達や大桃さんの講演が素晴らしいかった」、「同じ県内



十二貫野湖周辺で記念植樹をする参加者

10月19日(火)黒部市宇奈月国際会館セレンネにおいて、「とやま農業用水を育む集い2010in黒部」を開催しました。

当日は約580名の参加があり、午前、土地改良区の知事表彰、黒部

でも普段行くことがない所を説明付きで見学できるとても良かった」、「次回も参加したい」、「今後も続けて下さ

【指導課 指導班】

## 「農業用水の恩恵を再認識」 県内各地から580名が参加



右岸沈砂池全景

この合同用水は、黒部川に設置された愛本堰堤より取水されますが、水には土砂が混じっています。その土砂が水路に流入するのを防ぐため、堰堤下流の左右岸に沈砂池が設けられています。



改修のため、取り外された入口制水ゲート(幅約4m、高さ約3m)

11月16日(火)から、ストックマネジメント事業黒部川合口地区では黒部川合口用水の右岸沈砂池(黒部市宇奈月町中ノ口地内)の補修工事が始まり

状況となっています。また、適正な水の分配と維持管理の省力化を図るため、水門の遠隔操作システムも導入されています

以降、左岸沈砂池のコンクリート補修、水門改修及び遠隔操作システムの更新を行う予定としています。

【農村整備課 水利防災班】

## 黒部川合口用水 右岸沈砂池 78年ぶりの大補修工事スタート!

愛本新用水土地改良区は、受益面積369ha、組合員数590名からなっています。黒部川の水を宇奈月ダムから取水し、入善町舟見、黒部市宇奈月町愛本新などの水田を潤しています。

## 土地改良区紹介 愛本新用水土地改良区

共同幹線水路(圧力隧道及び管路)約1.5kmへ分水され、田畑へと供給されています。また、分水口から放水口の落差が44mあり、水の勢いを十分に得られるという条件に適していることから、県営かんがい排水事業にて水力発電所が建設され、平成元年から運転しています。

昭和36年に新潟県より種子を持ち込んだのがきっかけであります。当時、質より量の時代で「味は良いが倒れ易く機械化には不向き」と敬遠されたのをV字型稲作理論と結びつけ、10年の歳月による調査・研究のもと昭和47年に念願であった県奨励品種に採用され、富山ブランドとして不動の地位を誇っております。

## 新規地区紹介 若栗北部地区

今年度、経営体育成基盤整備事業若栗北部地区(黒部市)が事業採択されました。



愛本新発電所は、当土

この喜びを後世に伝え



【技術員 大家 誠】

【農村整備課 農地整備第二班】

## 新川は本県農業の羅針盤

「太陽は東から昇る」ように、新川は常に本県農業の先導的役割を担ってきております。

【黒部庁舎 南保技術次長】

【イベント情報】

【開催場所】魚津総合庁舎1階

「黒部の太陽」と酷似した壮絶な戦いであり、開場1筆毎に「すき床」まで掘り起こし、木桶を継ぎ足し均一に泥水が導き出されるように苦労された姿が浮かんできます。

また、県内の9割以上で作付けされているコシヒカリではありませんが、入善町の一人の篤農家が

【開催場所】入善町まちなか交流施設 うるおい館

【開催場所】魚津総合庁舎1階

【開催場所】魚津総合庁舎1階

「ザル田」と言われ、冷水の影響等から米の生産量は10ヶ当たり250kg程度の低収地帯でありました。それを克服するため6000粒の圃場を10

【開催場所】魚津総合庁舎1階

## 編集後記

今年も残すところ、後わずかとなりました。現場に行く時は晴れていてほしいと思いつつも、なかなか晴れてはくれませんが、雨や雪が降り寒い日が多くなりますが、体調管理には十分に気を付けたいと思います。



改修予定の用水路(自地が切れ漏水が著しい)